

| | | | | | | | |
|------|--------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 在宅生活者の介護過程展開 | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 井川 淳史 | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 3 | 授業番号 | 7410 |

●授業のテーマ

在宅生活者に対する介護実践にあたり、利用者の状態についての的確に理解する。

●到達目標

利用者の状態を全人的かつ総合的に理解し、介護実践者としての思考過程が理解できる。

●学習内容(授業概要)

介護過程の意義・目的、思考過程、各段階における視点について学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. 本講義における授業展開、評価について（オリエンテーション）
2. 介護概念と自立概念の変遷について（ICFについて）
3. ICF概念を用いて、思考過程を理解する（自己の生活理解）
4. 在宅生活者を主体とした介護過程の全体像（介護過程の展開）
5. 介護過程の意義、目的、対象について（在宅生活者の理解）
6. 介護過程展開（1）（アセスメント：情報とは何か、情報収集の視点）
7. 介護過程展開（2）（アセスメント：情報の解釈と関連付け、統合の方法）
8. 介護過程展開（3）（アセスメント：ニーズとデマンドの関係について）
9. 介護過程展開（4）（生活課題の明確化と優先順位の考え方）
10. 介護過程展開（5）（計画立案：目標設定の視点、具体的な支援・方法の立案）
11. 介護過程展開（6）（実施のための留意点、実施状況の把握と記録）
12. 介護過程展開（7）（評価の目的と方法、再アセスメント・再計画立案）
13. 事例演習（1）（アセスメントにおける展開過程）
14. 事例演習（2）（アセスメントから計画立案までの展開過程）
15. まとめ（チームアプローチの意義、多様な利用者とその家族の状態についての理解）

●準備学習・事後学習の内容

テーマに即した点の予習を行う。授業内のポイントをノートにまとめ復習する。

●成績評価方法・基準

試験 50%、課題提出と授業参加状況 50%

●テキスト（必携）

授業時に指示する。

●参考文献／その他

授業内で紹介する。必要に応じて資料配布する。

●履修上の注意

- ・ 毎時、講義時にプリントを配布する。
- ・ プリントはファイル等に綴じておく。